



府中町の町章

府中町のかしら文字「ふ」を図案化したもので、動きのある3線の結合は、町の和と発展を示しています。



ロゴマーク

府中町の「ふ」をデザイン化し、まちの特長である商業（オレンジ）、工業（ブルー）、住宅（グリーン）がバランスよく支え合い、未来に向かってすすんでいく府中町の姿をシンボライズし、コンセプトである OASIS-FUCHU（オアシスふちゅう）を目指す姿として表現しています。



府中町の花 つばき

古くから町内の神社や寺院の境内に自生し、また呉娑々宇山にはやぶつばきの群生が見られ町民に親しまれていたことから、気品があり清楚で情緒に満ち、庭園樹のほか生花としても愛好されている「つばき」こそが、府中に最もゆかりのある花として制定されました。



府中町の木 くすのき

常に青々と緑を保ち、そのうえ樹勢も強く、大樹に育ち、あたかも21世紀に向かって大きく飛躍する青少年とふるさと府中町を象徴する樹木として、町政施行50周年の昭和62年に制定されました。

府中町民憲章

わたしたち町民は、安芸の国府であった府中町の伝統を大切にし、平和で豊かな新しい町づくりにつとめます。そのため、つぎの“合いことば”を定め、お互いにはげまし合って実行します。

1. 会えば気軽に あいさつを
2. 心もからだも すこやかに
3. 子どももおとなも 豊かな教養
4. 若人に活気を 年よりに生きるよろこびを
5. 水は清く 山は緑に美しく